

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1171900531		
法人名	医療法人社団愛優会		
事業所名	グループホーム氷川		
所在地	埼玉県戸田市氷川町1-4-2		
自己評価作成日	平成23年2月22日	評価結果市町村受理日	平成23年7月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kohyo-saitama.net/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1171900531&SCD=320>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社シーサポート		
所在地	さいたま市浦和区北浦和3-6-9		
訪問調査日	平成23年5月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ウォーキング、水分摂取、学習療法に特別な配慮をしている。又、下剤、眠剤の廃止に取り組み薬に頼らず食品や運動により改善を図っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○明るく・配慮のある職員のまごころのこもったケアにより、入居者が元気に・安心して暮らすことができる生活が提供されている。○ウォーキング、水分・ジュースの摂取、サイドウォーカー・エアロバイクの使用、学習療法等々良い物を探求・実践・推進し続け、入居者の健康と能力の維持に取り組んでいる。またこれらを近隣の方々にも紹介するなど、地域の介護予防の発信基地としての役割も担っている。○東日本大震災の被災者の方々を震災後すぐに受け入れ、支援を継続しており、職員・入居者が一体となって社会への貢献に力を捧げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	孤独、無気力、退屈という3つの病気からの開放を目的とし、付かず離れずの思いやりで生活のお手伝いをする。	入職時の面接時からホームの基本理念を説明し、共に支援していける方を同士として迎え入れている。理念の本当の意味を理解してもらえるよう、具体例をあげながら、日常のケアの指導の際に周知を図っている。	現在の基本理念がつくられてから、年月がたっており、改訂が考えられている。職員の更なる団結と動機づけを目的として行われていくことが望まれる。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議や行事を通じ、ご家族、地域の方をお招きして交流を図っています。	地域の方に来ていただいて「介護予防プログラムの体験」をもらったり、町内会・老人会から様々な催しに誘ってもらったりなど、双方向の交流がなされている。ウォーキングの際に近隣の方との触れ合いがあり、日常的な交流も深められている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	戸田市生活支援課と連携をとり、地域の方たちの入所を受け入れている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でいただいた貴重なご意見は全職員の共通認識としてサービス提供に活かしている。	町内会・老人会、家族・入居者の方々が参加し、開催されている。事業報告、防災時の協力依頼等々がなされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常日頃から介護課や生活支援課に入退所の相談や実情の伝達等を通して行政と協力関係を築いている。	運営推進会議には介護保険課・生活支援課の職員の方に来訪してもらい、意見を聞いている。またEメールでの研修等の情報の提供・グループホーム協議会への参加により連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠以外は身体拘束をしていません。	勉強会での指導、マニュアルの周知により指導がなされており、常に安全と自立との共存について検討がなされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者をはじめ全職員共通認識のもとお互いにきびしく戒めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2回に分け講習予定。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安や疑問点を十分ご説明しご理解を頂いたうえで契約をしていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進介護等を通して運営に反映している。	面会時・個別の面談の際に意見を伺うようにしており、要望に対しても説明と検討が行われ、取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体ミーティングやフロアミーティングで出た意見や提案を出来るものから反映している。	全体ミーティング・フロアミーティングがそれぞれ月に1回開催されており、行事の企画等に対して意見が出されている。管理者により職員皆で取り組んでいく雰囲気づくりがなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力や実績を正しく評価し給与に反映。また休憩室を設ける等環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会。講演会への参加又ミーティングでのカンファレンス等を通してスキルアップ、レベルアップを図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設との行事を通しての利用者同士の交流を計画中です。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	各利用者毎に担当者をおき、その担当者を中心にしてマンツーマンで対応し、不安を取り除き安心して生活できる様コミュニケーションを図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族と利用者様の情報を共有できる様、疑問や要望等に派迅速に対応して信頼関係を得る様にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人が必要としている支援には真摯に耳を傾け実現に向け努力しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の掃除、食事作り、洗濯等の行為に対して、ご本人と職員同士協力しあっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来所時や電話での話し合いの中でご本人を支えるための会話ができる様努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デートプラン(氷川独自のイベント)を通して支援に努めている。	入居者の懐かしい場所や希望の場所に職員や家族と一緒に行く:ホーム独自の「デートプラン」が継続して行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ウォーキングや遠足等各種行事を通して利用者様同士、心の繋がりを大事にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもその後をフォローするため相談を受けたり支援をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランに従って、希望、意向の把握に努めている。	入居者の仕草・声等のサインを見逃さないよう「五感を常に働かせる」指導がなされており、そこから把握した希望や意向を日常のケアに反映するよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアプラン、入所時サマリー等で把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン、日常の介護を通して把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	フロアミーティング等で個別のケアプランについて話し合ったことをもとにご家族に伝え、意見を伺い参考にしている。	定期的モニタリング・フロアミーティング時の個別カンファレンスを通して検討が行われており、自立・能力維持を目標の柱にしたケアプランが作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日2回(朝、夕)の申し送り等を通して情報の共有化を図り日々のケアに対応している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ウォーキング、車イスからの脱却、転倒予防トレーニング、アニマルセラピー、デートプラン等様々なサービスに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の催し物等の行事に参加する機会を設けている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回往診医による適切な医療を受けている。	法人内のクリニックによる往診とかかりつけ医への同行が行われている。受診の際は、医師に日常の様子を知らせるため、手紙や情報提供書を渡す等の受診支援が行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に情報あるいは気づきを伝え、往診時の受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院の際は医師、看護師、相談員と協議している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化時の指針を作り関係者と共にチームによる支援に取り組む。	重度化・看取りへの対応の指針を作成し、医療体制と支援について、入居時に家族に説明をし、話し合いをしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員、普通救命講習を修了し、AEDの使用も可能である。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議を通して地域との協力体制について理解を得ている。	年2回の避難訓練が行われており、備蓄と備品の整備により非常時に備えている。近隣にも災害時の協力を依頼するなど更なる体制の強化が行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員、一人ひとりの人格を尊重し言葉かけや対応に配慮している。	職員の声掛け時の言葉遣いには徹底した指導がなされており、入居者各人の尊厳を大切にケアに取り組んでいる。また職員の入職時には秘密保持の誓約書が提出されており、重要書類の保管にも配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	掃除、洗濯、食事作り等ご自身からすすんでやっていただける様考慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前、午後のウォーキングの他はTV、DVD、カラオケ、談笑等おもいおもいに過ごされている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の更衣、外出の際の着替え、整容等それぞれの要望にそっております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの好みを管理栄養士に伝えメニューに反映している。配膳、後片付け等一緒に行く。	「季節の果物や野菜を取り入れる」・「一人ひとりにあわせた形状と味付けによる調理」・「管理栄養士が作るメニュー」等々により提供される食事は楽しい憩いの時間となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立にもとずいた食事を提供している。又水分は1500cc / 日を励行している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回の歯科医による口腔ケアの実施。又、日常では職員がうながし、援助している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツ使用者でも職員が誘導しトイレで排泄する様習慣化を図っている。	パターンの把握によるトイレ誘導を実践し、トイレでの排せつを支援している。また誘導時の声掛けの配慮についても職員への指導がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤を廃止し、プルーンを主としたジュースを摂取していただいている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	できるだけご希望に応じていける様努力中です。	清拭や足浴も交え、一人ひとりの状態や希望にあわせた清潔の保持に努めている。また拒否をする方にもアプローチを変えるなどの工夫をしながら対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	傾眠がみられる時は居室でのお休みをすすめたり、就寝時にはリラックスできる様話しかけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	認知症であるがため目的や副作用について理解を得るのは難しいが、服薬の支援と症状の変化については確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、洗濯、食事作り等や各種行事毎の飾り付け等、色々役割をお願いしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族との外食、或いはご旅行等支援している。	毎日2回のウォーキングにより健康増進、ストレス解消が図られている。また車イスの方も近隣の公園で歩行をするなど積極的に戸外へ出ることの楽しみを支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ふだんは一括してお預かりしているが、職員付き添いのうえで、ご自分でお買い物をしていただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいと言う要望は常に受け入れたおり、又、ご家族、知人への年賀状等書いていただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の掃除や換気、温度の管理等を通して、又、季節に合わせた飾り付けをしたりして、快適に過ごせるようにしている。	広い廊下・ちょっとしたおしゃべりができるソファ・清潔なリビング・配慮された室温等々居心地良く・家庭的に過ごすことができるよう配慮がなされた空間となっている。	節電等環境への配慮のため、「緑のカーテン」(植物を外壁に栽培し、建物の温度上昇を抑える効果がある)をつくるのが計画されており、実現が期待される。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	くつろげるスペースを確保し、お茶、談笑、カラオケ等楽しんでいただけている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、家具やはし、茶碗等新しいものでなく、今までご自分が使い慣れた物を持ってきていただき、居心地良さを大切にしている。	使い慣れた家具を持ち込み、思い思いに過ごすことができるよう支援している。また共有空間と居室、社会性とプライバシーのバランスを考慮して共同生活ができるよう配慮したケアが実践されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できること」「できないこと」を把握しやってあげるケアではなく、やっていただくケアが心がけている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現在の基本理念がつくられてから年月がたっており、改訂が考えられている。職員の更なる団結と動機づけを目的として行われていくことが望まれる。	職員全員に対し「理念」というものをしっかりと認識させ、適切な研修を積み重ねる。ひとりひとりにしっかりとした意見を持たせ、実施に結びつける。	「理念作成委員会」を設立し委員会が中心となり職員全員が参加する会議を実施する。	12ヶ月
2	52	節電等環境への配慮のため、「緑のカーテン」(植物を外壁に栽培し、建物の温度上昇を抑える効果がある)をつくるのが計画されており、実現が期待される。	遅くとも6月中には完成させ、緑のカーテンが早く成長し、強い日差しをさえ切り、エアコンの使用を控えられるようにしたい。	職員のみではカーテンの設置が困難なため、地域のシルバー人材センターに依頼したところ、人材の確保には8月10日を過ぎた頃でないかと無理であるとの返事。故にすだれに変更し来年度実施へ向ける。	12ヶ月
3	14	他施設との行事を通しての利用者同士の交流を計画。同時に職員も交流を図り、情報交換の場とする。	他の施設の管理者や職員との交流を試み、ネットワーク作りや情報交換、勉強会を通し、サービスの質の向上を目ざす。利用者同士の交流を深める。	暑さの納まる10月頃を予定し、集合場所の選定や交通手段、予算等を決定するために職員全員で話し合ったのち他事業所との会議の場に持ち込む。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。